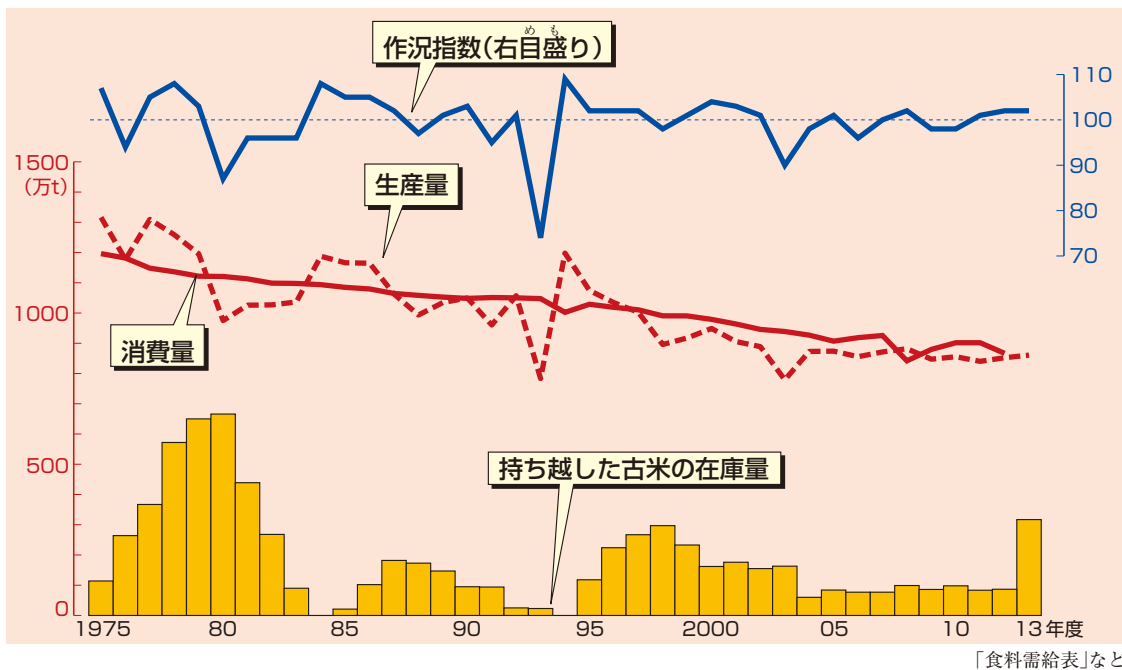


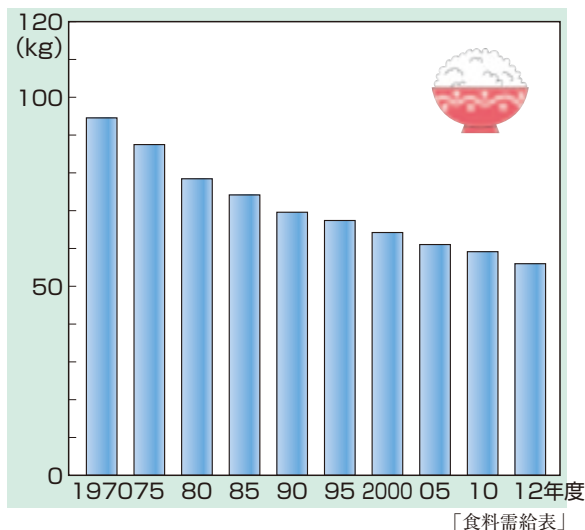
データ 米の生産量と消費量、作況指数、持ち越した古米の在庫量の移り変わり



作況指数とは、農作物の作柄の程度を表す数字だよ。平年並みを99~101とするよ。



データ 1人が1年に食べる米の量の移り変わり



米の消費量はどんどん減っているのね。

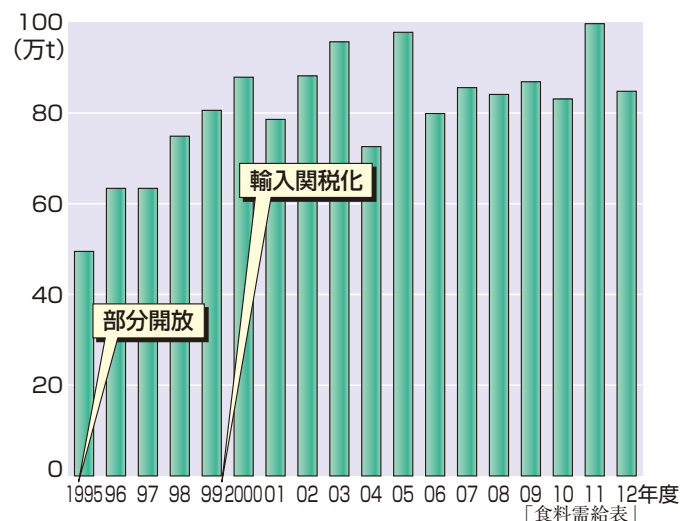


データ 品種別の収穫量トップ7

順位	品種	収穫量 (t)	割合 (%)
1	コシヒカリ	309万4000	36.5
2	ひとめぼれ	84万2700	10.0
3	ヒノヒカリ	80万5300	9.5
4	あきたこまち	65万6700	7.8
5	はえぬき	25万8400	3.1
6	キヌヒカリ	25万7500	3.0
7	ななつぼし	20万900	2.4

(2009年)「平成21年産水稻の品種別収穫量」

データ 米の輸入量の移り変わりと輸入自由化



世界と比べよう

日本以外にも、アジアを中心に米を生産している国がたくさんあります。中国とインドで世界の米の約半分を生産しています。また、タイは最大の米輸出国になっています。

データ 稲作のさかんな国 トップ10

順位	国名	生産量(万t)	割合(%)
1	中国	20428.5	28.4
2	インド	15260.0	21.2
3	インドネシア	6904.5	9.6
4	ベトナム	4366.2	6.1
5	タイ	3780.0	5.3
6	バングラデシュ	3389.0	4.7
7	ミャンマー	3300.0	4.6
8	フィリピン	1803.2	2.5
9	ブラジル	1155.0	1.6
10	日本	1065.4	1.5

(2012年)「FAOSTAT/Production」

世界計 7億 1973.8万t

地理キーワード 日本は、長い間、米の輸入を制限してきました。しかし、アメリカなどからの輸入自由化を求める要求が強まり、1995年には、決められた最低輸入量を輸入する部分開放が行われ、1999年からは最低輸入量を超える分に関税(輸入品にかける税)をかけて、輸入自由化しました。